

★ 頑張る集落営農⑭ ★

農政課では高齢化による農業の担い手不足に対応するため、集落営農組織の育成を支援しています。

- ① 集落営農組織名 はまひ
特定農業団体 浜陽営農生産組合 代表 野木 辰美
- ② 所在地 国東市国東町浜陽
- ③ 設立年月 平成18年10月
- ④ 構成戸数 14戸
- ⑤ 主な経営内容
【経営面積】自作地 2.3ha 借入地 4.2ha
特定農作業受託 5.3ha
【作付面積】大豆 0.7ha 麦 2.5ha 飼料イネ 10.1ha
- ⑥ 集落営農に取り組んで良かったこと
・高齢化の進む中で、農地の荒廃防止と産地づくり対策にかかる団地化に取り組むことが可能になった。
- ⑦ 今後の展望、抱負
・後継者が参加しやすい組織づくりを目指し、将来の組織を担うリーダーを一人でも多く育てたい。
・高性能田植機の導入による受託作業を拡大し、浜陽集落の農地を見守りたい。



▲皆で話し合っって草刈り作業も効率的に!!

集落営農について関心のある方は、お問い合わせください。

問い合わせ

		農政課	☎72-5167
国見総合支所地域産業課	☎82-1113	安岐総合支所地域産業課	☎67-1116
武蔵総合支所地域産業課	☎68-1115	大分県東部振興局農山漁村振興部集落・水田班	☎72-0409

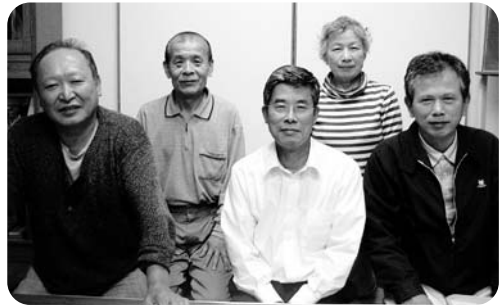
安岐町 まなわたり 集落営農組織「馬渡営農組合」設立

「馬渡の農地は馬渡で守ろう！」

安岐町山口馬渡地区の農家4戸で構成する、集落営農組織「馬渡営農組合」が発足しました。

5月17日(日)、馬渡集落センターで開催された設立総会では、今後の事業計画等について協議し、組合長に工藤孝士さんを選出しました。

今後は農地の維持・管理を行いながら、高齢化による耕作放棄に対応するとともに、飼料作物を中心に農作業受託を行い、農業機械の共同化による生産コストの低減を図りながら、効率的な農業経営を目指します。



「父の日にバラを」知事へのバラ花束贈呈

「父の日」には、日ごろの感謝の気持ちを込めてバラを贈ろう」という運動のPRで、大分県バラ生産者協議会が、6月18日(木)、県庁を訪れ、広瀬勝貞知事にバラの花束を贈りました。

市内からバラ生産者の小縣多津子さん、一興さん親子(国東町北江)、栗林祐二さん、慶子さん夫妻(国東町来浦)が出席し、多津子さんと慶子さんが、生産したバラの花束を知事に手渡しました。



▲左から栗林慶子さん、広瀬知事、小縣多津子さん